

浜田市立三階小学校

学校だより

第2号令和元年5月21日

◎本校のビジョン(目指す子どもたちの姿)

「豊かな人間性とたくましい実践力を身につけた子ども」

◎本校職員のミッション(ビジョン達成のための使命・道筋)

「一人一人が『自分らしく』『一生懸命』勉強し、
『力をつける』三階小学校を創る」

今年のゴールデンウィークには、**改元に伴う特別に長い連休**があり、例年とは違う生活リズムの方も多かったのではないかと思います。皆様いかがお過ごしだったでしょうか。

また、先日はお忙しい中、**授業公開**と**PTA 総会**にご参加下さり、どうもありがとうございます。お子様のがんばる姿、ご覧頂けたでしょうか？

さて、季節の風物として秋の紅葉はよく話題に上がりますが、私は4月後半から6月にかけての**山の緑を見る**のが好きです。一口に緑といっても、針葉樹の濃い緑、広葉樹の淡い黄緑や新芽の白っぽい緑、竹林の淡い黄色、そこに山桜や山ツツジ、藤の花の色が時期ごとのアクセントとなって、**彩りが本当にきれいだな**と思います。**三階小学校の校歌の冒頭の、「みどり溢れる丘の上」**は、きっとこの季節の様子を表しているのだと思いますが、皆さんはどう思われますか？

当たり前の「良さ」

校長 松本 潔

入学式からしばらくたったある日、児童会の子どもたちと一緒に、登校する子どもたちを昇降口でお迎えしていたときの事です。

大勢の子どもに同じように声掛けしていたのですが、その中のある子どもが、「校長先生、私は1年生じゃありませんよ！」と訴えました。私は、すぐに「1年生じゃないとわかっているよ」と伝えました。どうやら、**私が掛けた「今日も、よく来たねえ」という言葉**が、入学直後の1年生を励ますための言葉に聞こえたようでした。その子には、「入学したばかりで、毎日疲れて大変だろうに、今日もよく来たねえ。えらいね」という意味合いに聞こえたのだと思います。

私は毎日機会があれば**できるだけすべての子どもたちに「今日もよく来たねえ。」と声をかける**ことにしています。子どもたちが毎日学校にやってくることは、**当たり前**なのかもしれませんが、彼らは**ランドセルの中に教科書だけではなく、それぞれの思いも詰めてやってくる**のだと思います。学校に来たくない日もあるでしょう。体調の思わしくない日もあるでしょう。兄弟げんかしたばかりかもしれません。友達関係に悩んでいるかもしれません。自信が持てないこともあるかもしれません。…そんな中で学校に、今日来ることができたことを**当たり前の「良さ」**ととらえ、

私は子どもたちに「**よく来たねえ。」と声をかけ続けたい**と思っています。

もちろん心身や色々な都合等で、**学校に来たくても来られない時もある**と思います。そんな時は、体や心のエネルギーをためて、また学校に来てほしいと思います。せっかくやってきた**学校が、子どもたちにとって安心・安全が保障された上で、確かな力をつけることができる場所なのかどうか**については、今度は**私たち学校職員が頑張らなくてはなりません**。もちろん一生懸命取り組みますが、独りよがりだったり視野が狭くなっていたりすることだってあるかもしれません。そんな時は、先日のPTA 総会のあいさつでも申しましたように、どうぞ遠慮なく**ご意見をお寄せください**。

しっかりお話を聴かせてもらい、**子どもたちのために最善のやり方を共に探っていきたい**と思います。これからもどうぞよろしくお願ひします。



←児童会のみんなは、いつも昇降口であいさつ運動をしています。仲間のために自分の力を使ってくれていて、嬉しいです。

暑かったけど、楽しかったね！

～子どもたちの「絆」を感じたミニ遠足～

5/15(火)に、全学年児童で「海のみえる文化公園」に出かけました。2km弱の道のりを縦割り班毎に歩き、公園では、ポイント毎に先生方が出すクイズに答えるウォークラリーを楽しみ、最後は野外ステージ前の芝生で思い思いに遊び、学校まで帰りました。

振り返りは、「班で仲良く遊ぶことができた」「協力してウォークラリーをした」「6年生がすごく優しくしてくれて嬉しかった」等の感想が出ました。ミニ遠足を通して、三階小学校児童の「絆」が、また一段と強まったのを感じて、私も嬉しくなりました。



振り返りでは、絆が強まったのを感じました。↓

↑縦割り班で、ウォークラリーの楽しい課題に取り組みました。

